

2012年1月24日

伯方塩業株式会社
代表取締役 近藤博明
愛媛県松山市萱町4-4-9
TEL：089-911-4140
FAX：089-923-9671

2012年1月19日更新

当社製品「伯方の塩」の安全性について

2011年3月に発生しました東京電力福島第一原子力発電所の放射能事故を受けて、当社製品「伯方の塩」の製造環境、安全性、分析試験結果についてお知らせ致します。

工場の所在地

伯方工場 : 愛媛県今治市伯方町木浦甲 841
明浜工場 : 愛媛県西予市明浜町俵津 1-696-4
大三島工場 : 愛媛県今治市大三島町台 32

原料

天日海塩 : メキシコまたはオーストラリアから輸入しています。
海水 : 各工場の沖で取水しています。

放射能もれに関するの当社製品の安全性

① 立地における影響について

三工場が立地している愛媛県は、東京電力福島第一原子力発電所からは南西の方向、距離にして約840kmの位置にあり放射能が影響する可能性はありません。

② 工場の環境について

当社では製造を全て工場室内で行いますので、製造工程における汚染の可能性はありません。

③ 海流が及ぼす影響について

当社工場周辺の海水が影響を受ける日本の海流は、日本南岸から東北方向に流れる日本海流（黒潮）と東シナ海から日本海に流れる対馬海流ですので、放射能に汚染された海水が当社製品に影響する可能性はありません。

④気候が及ぼす影響について

年間を通じ、天候は「西から東」に移動しており、夏季は太平洋高気圧から吹き出す南東風が卓越し、冬季はシベリア高気圧から吹き出す北西風が卓越しており、北東方向からの大気の大きな流れはありませんので、当社工場の周辺の大気に放射能が影響を与える可能性はありません。

⑤台風が及ぼす影響について

台風は上空の風に流されて動き、地球の自転の影響で北へ向かう性質を持っています。そのため、通常東風が吹いている低緯度では台風は西へ流されながら次第に北上し、上空で強い西風（偏西風）が吹いている中・高緯度に来ると台風は速い速度で北東へ進むことから（気象庁のホームページ参照）当社工場の周辺の大気に放射能が影響を与える可能性はありません。

(分析機関における当社製品の分析試験結果)

当社では、定期的に当社製品を分析機関へ委託して放射能を測定し、結果をお知らせしております。

お客様へより安全に製品をお届けするため…今後、厚生労働省が厳格化する新基準値案のうち一般食品（100Bq/kg）の1/5レベルまで放射能を測定しております。

(分析機関：財団法人日本食品分析センター)

検体名	試験項目	結果	定量下限	製造日
伯方の塩 (大三島工場)	セシウム 137	検出せず	20Bq/kg	2012年1月13日
	セシウム 134	検出せず	20Bq/kg	
	ヨウ素 131	検出せず	20Bq/kg	
伯方の塩 (明浜工場)	セシウム 137	検出せず	20Bq/kg	2012年1月11日
	セシウム 134	検出せず	20Bq/kg	
	ヨウ素 131	検出せず	20Bq/kg	
フルール・ド・セル (伯方工場)	セシウム 137	検出せず	20Bq/kg	2012年1月12日
	セシウム 134	検出せず	20Bq/kg	
	ヨウ素 131	検出せず	20Bq/kg	

●焼塩は放射能が検出されていない伯方の塩を焼いたものですので、分析結果は伯方の塩と同じになります。

上記の分析結果の通り、放射能は検出されておられませんので、安心してご使用ください。

(過去の分析結果)

- * **2011年10月製造分**・・・大三島工場（10月22日製造）、明浜工場（10月21日製造）、伯方工場（10月21日製造）の3工場ともにセシウム137、セシウム134、ヨウ素131は検出されませんでした。
- * **2011年7月27日製造分**・・・大三島工場、明浜工場、伯方工場の3工場ともにセシウム137、セシウム134、ヨウ素131は検出されませんでした。
- * **2011年3月30日製造分**・・・大三島工場、明浜工場、伯方工場の3工場ともにセシウム137、セシウム134、ヨウ素131は検出されませんでした。

以上